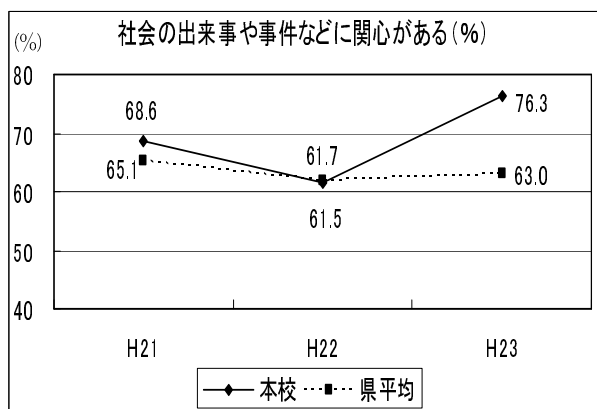
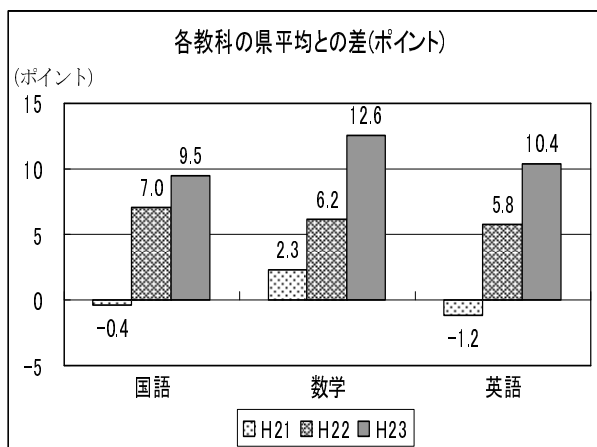


三原市立久井中学校の取組

【久井中学校の取組の成果】

「基礎・基本」定着状況調査結果(H21～H23)



【成果と課題】

- 授業時の「アンダーライン・囲み学習」や補充学習によって、基礎的・基本的な学力の向上を図ることができた。
- 朝読書の時間に、新聞の活用を定期的に取り入れることで、生徒が新聞に親しむ機会を多くつくることできた。
- 新聞記事を要約したり、グラフを読み取ったりするなど、教師が様々な問題を作成することにより、生徒の多様な関心に対応することができた。
- 生徒が自主的に家庭学習ノートに新聞の切り抜きを貼ったり、新聞記事の要約・感想をまとめたりしており、日常的に新聞の活用が図られるようになった。
- 新聞記事から情報を得て、思考し、表現する活動を中心に実施してきたが、表現が「書く」活動に限られていたので、「話す」活動へと発展させていく必要がある。

【取組の概要】

- ① 「久井中学校授業モデル」に沿った授業展開の工夫
 ア 前時の復習テスト イ 目標の明確化
 ウ 個人思考の設定 エ 集団思考の設定
 オ 自己評価の実施 カ 家庭学習の指導
- ② **基礎的・基本的な学力の定着**
 ・アンダーライン・囲み学習
 ・学力補充
- ③ 久井中五訓の徹底
 ・時を守る ・場を清める ・礼を尽くす
 ・授業に集中する ・決まりを守る
- ④ **NIEの取組**
 ・月2回朝読での新聞の活用
 ・生徒用新聞閲覧台の設置
 ・教科での新聞記事の活用
 ・新聞づくり
- ⑤ 地域ボランティア活動

※ 【取組の概要】のうち、②・④について、具体的取組を次に示す。

【具体的取組Ⅰ】

基礎的・基本的な学力の定着

(1) アンダーライン・囲み学習

- 授業開始時に授業者の指示で、生徒は教科書の文章や資料等にアンダーラインや文字囲みを行う。
- 〈囲み学習〉
 - ・ページ文字に丸囲みをする。
 - ・重要度により、3重丸～丸なしの4段階。
 - ・重要人物や事項を丸囲みする。
 - ・人物は四角囲み、事項は丸囲み。
- 〈アンダーライン学習〉
 - ・授業者の言葉により、教科書本文に下線（単線又は2重線）を引く。
 - ・下線部をつなげると要約文になるように工夫する。

- 聞く力を育成する。
- 思考力を育成する。
- 集中して聞くことによって、授業規律を確立する。



(2) 夏季休業中の学力補充

	
時間	内容
8:20~9:20	学力補充① 全員参加
9:20~12:00	<部活動>
13:00~15:00	学力補充② 選抜生徒（学年4~5名） 基礎的・基本的な学力の定着 ※ 国語・数学・英語を中心に 必要な教科を全教員が担当する。

具体的取組Ⅱ

NIEの取組

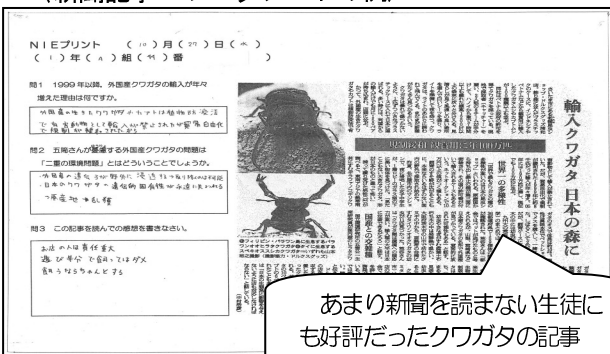
【ねらい】

- 日常的に新聞を読むことに親しませ、世の中の出来事に興味・関心をもつ生徒を育てる。
- 新聞の活用を活用して、様々な情報を収集し、判断・分析・処理することを通して、思考力・表現力を高める。

(1) 朝読でNIE

- 月に2回 朝読書の時間に、新聞を活用した取組
- 新聞記事の内容把握やグラフの読み取り等に活用できるワークシートの作成
 - 全教員が順番に担当し作成
→記事の内容・ジャンルは問わず、生徒の興味・関心、生徒に読んでもらいたいものを選定した。

<新聞記事・ワークシートの例>



輸入クワガタ 日本の森に
クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で、増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で、増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。

問題1 1990年以降、外国産クワガタの輸入が中心で増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で、増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。

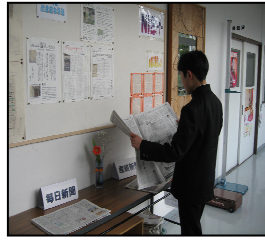
問題2 五匹のクワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で、増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。

問題3 この記事を基に、外国産クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。クワガタの輸入は、外国産クワガタの輸入が中心で、増えたり減ったりはするが、輸入は減りつつある。

あまり新聞を読まない生徒にも好評だったクワガタの記事

(2) 生徒用新聞閲覧台の設置

- 1階廊下にNIEコーナーをつくっている。
(NIE学習での生徒の作品を掲示)
- いつでも自由に生徒が新聞を読むことのできる環境を整えている。
 - 複数の新聞を提示し、記事の比較読みができるようにしている。



(3) 教科での新聞記事の活用

学習内容と関連のある新聞記事を授業に活用し、学習内容を深めたり、身近なこととして考えたりできるようにした。



社会科教室の「気になるニュース」コーナー

(4) 新聞の読者投稿欄への投稿

- 国語科の書くことの学習（「意見文を書こう」第2学年、「主張文を書こう」第3学年）において、新聞から様々な情報を選択し、課題を見出し、自分の意見をまとめる。
→中国新聞『ヤングスポット』に投稿することで、新聞への情報発信の場とする。

(5) 新聞づくりへのチャレンジ

- 新聞の書き方の工夫から、分かりやすく情報を伝える方法の学習
- 国語科第1学年「自分新聞づくり」の学習で、割付や見出しの書き方に生かす。
 - 社会科地理的分野「アメリカ」について学習したあと、学習したことを新聞形式にまとめる。

